

地域経済を活性化させるためには、地域の現状や実態を正確に把握した上で、地域の実情・特性に応じた主体的かつ効率的な施策立案及びその実行が必要不可欠となります。

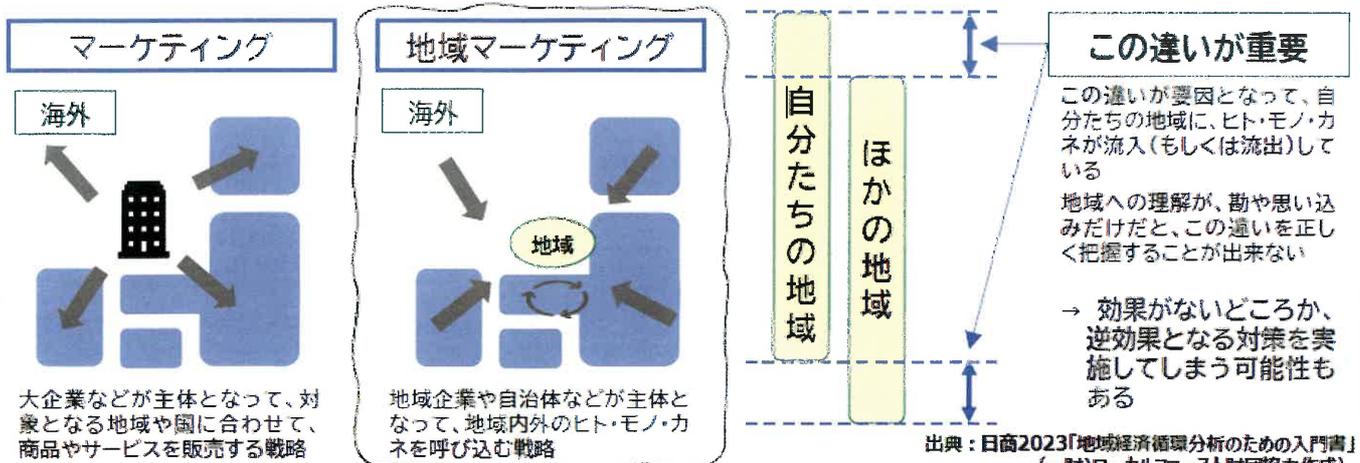
そこで、当所は日本商工会議所と連携し、国が提供する地域経済に係る様々なデータを見える化(可視化)したシステム「RESAS(リーサス)」(<https://resas.go.jp/>)を活用し、桑名市の客観的なデータの取得・分析を行いました。RESASは、地域の人口構成や将来人口をマップやグラフを用い表示していますので、統計データを利用していない方でも見やすくなっています。今後の事業計画の一助としてご利用下さい。

内容

●はじめに	1 ページ
●人口	2
●産業構造	5
●小売業・卸売業 製造業	6
●地域経済循環	7
●観光	8

●はじめに 【データで地域を把握する必要性】

- 人口減少・流出が進む中、地方創生を実現するためには、**地域経済循環(後述)**を強く太くして、住民一人当たりの付加価値/所得向上を図ることが不可欠。
- 「**地域マーケティング**」が必要
地方創生や地域活性化を実現するためには、地域をあげて域内外からヒト・モノ・カネを呼び込み、地域に経済好循環を生み出すための「**地域マーケティング**」が必要。
- 「**勘**」や「**思い込み**」の排除
そのためには、勘や思い込み、局所的な成功事例、個人的な体験(エピソード)に基づいて議論するのではなく、客観的なデータや事実に基づいて検討する必要がある(EBPM:Evidence-Based Policy Making(エビデンスに基づく政策立案))。
- 「**違い**」が重要
また、マーケティングの基本である「STP」(Segmentation、Targeting、Positioning)のうち、特に、自分たちが競合とどこが違うのか、どのように違うのかを明確にし、ほかとの差別化要因を把握すること(Positioning)が重要である。



RESAS

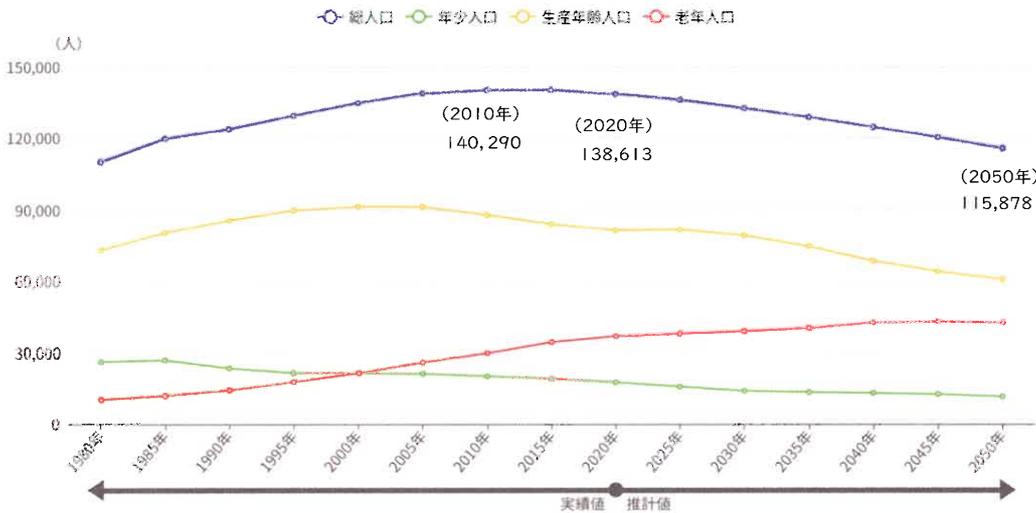
を分析してみよう

三重県
桑名市

RESAS(地域経済分析システム)は、地域経済に関する様々なデータ(産業の強み、人の流れ、人口動態など)をグラフで分かりやすく「見える化(可視化)」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考に見てみてください。

人口

人口推移グラフ
三重県桑名市

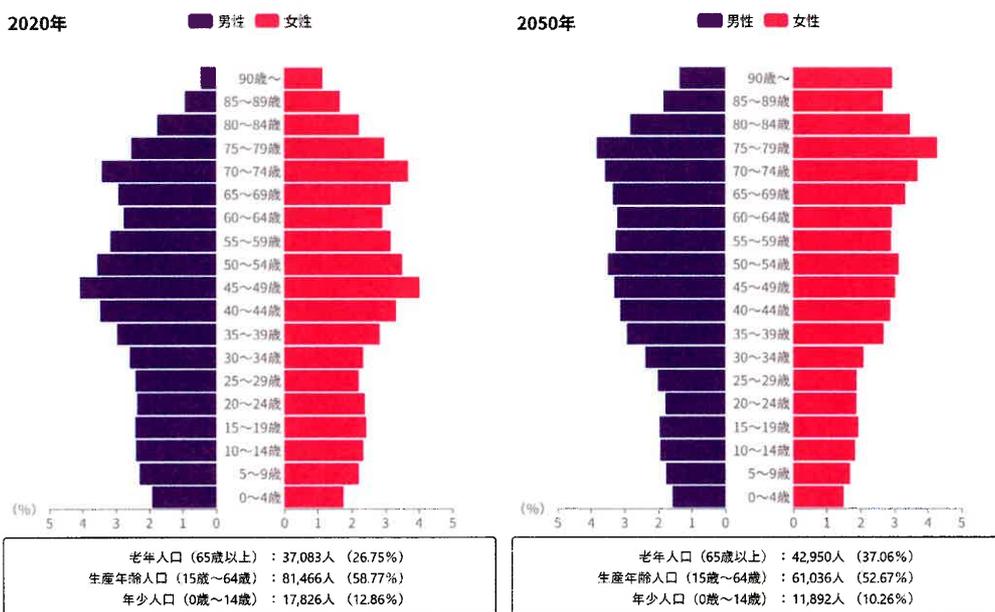


【出展】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
*人口マップ→人口構成分析→人口推移

年齢別人口推移

2020年の人口は総人口138,613人。10年前(2010年)の140,290人と比較すると1.2%減少しており2050年にかけてさらに減少傾向が続く見込みである。また、年齢別に将来の傾向をみると、年少人口や生産年齢人口は減少傾向、老年人口はゆるやかな増加傾向にあり、老年人口割合が増加する傾向にある。よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。*年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15~64歳、老年人口は65歳以上をさす。

人口ピラミッド
三重県桑名市



【出展】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
*人口マップ→人口構成分析→人口ピラミッド

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2050年の人口ピラミッドは「つぼ型」である。老年人口の割合をみると、2020年の26.75%から2050年には37.06%まで増加する。また、生産年齢人口は2020年の58.77%から52.67%まで減少する見込みである。

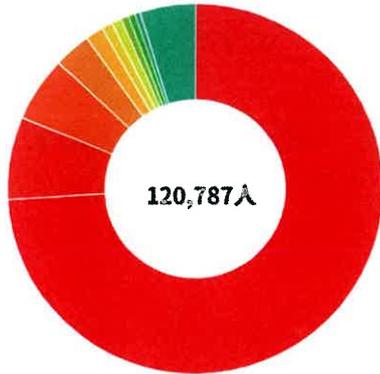
人口

昼間人口・夜間人口の地域別構成割合

2020年 三重県 桑名市
 昼間人口：110,820人
 夜間人口：120,787人
 (昼間人口比率：91.75%)

夜間人口

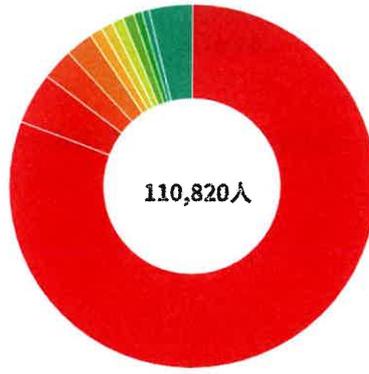
(指定地域内に居住する人の日中の滞在地)



- 1位 三重県桑名市 89,504人 (74.10%)
- 2位 愛知県名古屋市長 8,697人 (7.20%)
- 3位 三重県四日市市長 6,769人 (5.62%)
- 4位 三重県いなべ市長 3,882人 (3.21%)
- 5位 三重県東員町 1,871人 (1.55%)
- 6位 三重県川越町 1,143人 (0.95%)
- 7位 愛知県弥富市長 1,043人 (0.86%)
- 8位 三重県朝日町 782人 (0.65%)
- 9位 三重県津市長 707人 (0.59%)
- 10位 三重県鈴鹿市長 544人 (0.45%)
- その他 5,825人 (4.82%)

昼間人口

(指定地域内に日中滞する人の居住地)



- 1位 三重県桑名市 89,504人 (80.77%)
- 2位 三重県四日市市長 5,059人 (4.57%)
- 3位 三重県東員町 3,087人 (2.79%)
- 4位 三重県いなべ市長 2,717人 (2.45%)
- 5位 愛知県名古屋市長 1,265人 (1.14%)
- 6位 三重県川越町 1,142人 (1.03%)
- 7位 岐阜県津市長 1,135人 (1.02%)
- 8位 三重県朝日町 1,124人 (1.01%)
- 9位 愛知県弥富市長 820人 (0.74%)
- 10位 三重県鈴鹿市長 708人 (0.64%)
- その他 4,259人 (3.84%)

滞在人口 (2020年)

昼間人口と夜間人口を地域別構成割合で示したグラフである。

桑名市の昼間人口は110,820人、夜間人口は120,787人である。昼夜間人口比率91.75%と、通勤・通学等での人口流出が多いことがわかる。昼夜共に滞在人口の中で、もっとも多い居住地は桑名市である。

※15歳以上の人口を対象として算出している。

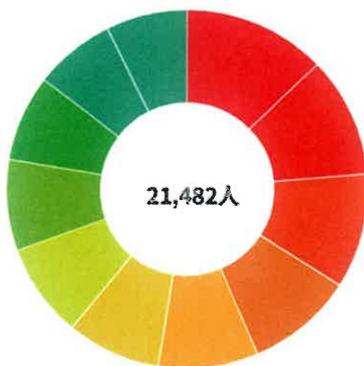
〔出展〕総務省「国勢調査」

*人口マップ→通勤通学人口分析→地域間流動

流入者数・流出者数の年齢階級別構成割合

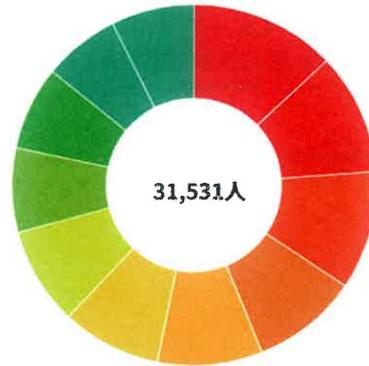
2020年 三重県 桑名市
 通勤者・通学者で見える
 移動
 流入者数：21,482人
 流出者数：31,531人
 (流出超過数：10,049人)

流入者数



- 1位 45～49歳 2,741人 (12.76%)
- 2位 40～44歳 2,334人 (10.86%)
- 3位 50～54歳 2,225人 (10.36%)
- 4位 35～39歳 2,054人 (9.56%)
- 5位 55～59歳 1,928人 (8.97%)
- 6位 65歳以上 1,824人 (8.49%)
- 7位 30～34歳 1,814人 (8.44%)
- 8位 25～29歳 1,765人 (8.22%)
- 9位 15～19歳 1,671人 (7.78%)
- 10位 20～24歳 1,556人 (7.24%)
- その他 1,570人 (7.31%)

流出者数



- 1位 45～49歳 4,068人 (12.90%)
- 2位 40～44歳 3,429人 (10.88%)
- 3位 50～54歳 3,355人 (10.64%)
- 4位 35～39歳 2,966人 (9.41%)
- 5位 20～24歳 2,940人 (9.32%)
- 6位 55～59歳 2,794人 (8.86%)
- 7位 15～19歳 2,757人 (8.74%)
- 8位 30～34歳 2,388人 (7.57%)
- 9位 25～29歳 2,360人 (7.48%)
- 10位 60～64歳 2,136人 (6.77%)
- その他 2,338人 (7.41%)

流入・流出者数 (2020年)

桑名市内外への流入・流出者数を年齢階級別構成割合で示したグラフである。流出超過数が10,049人と市外への流出者が多い地域であることがわかる。また、流入者数・流出者数ともに45～49歳がもっとも多くなっている。

〔出展〕総務省「国勢調査」

*人口マップ→通勤通学人口分析→属性別流動

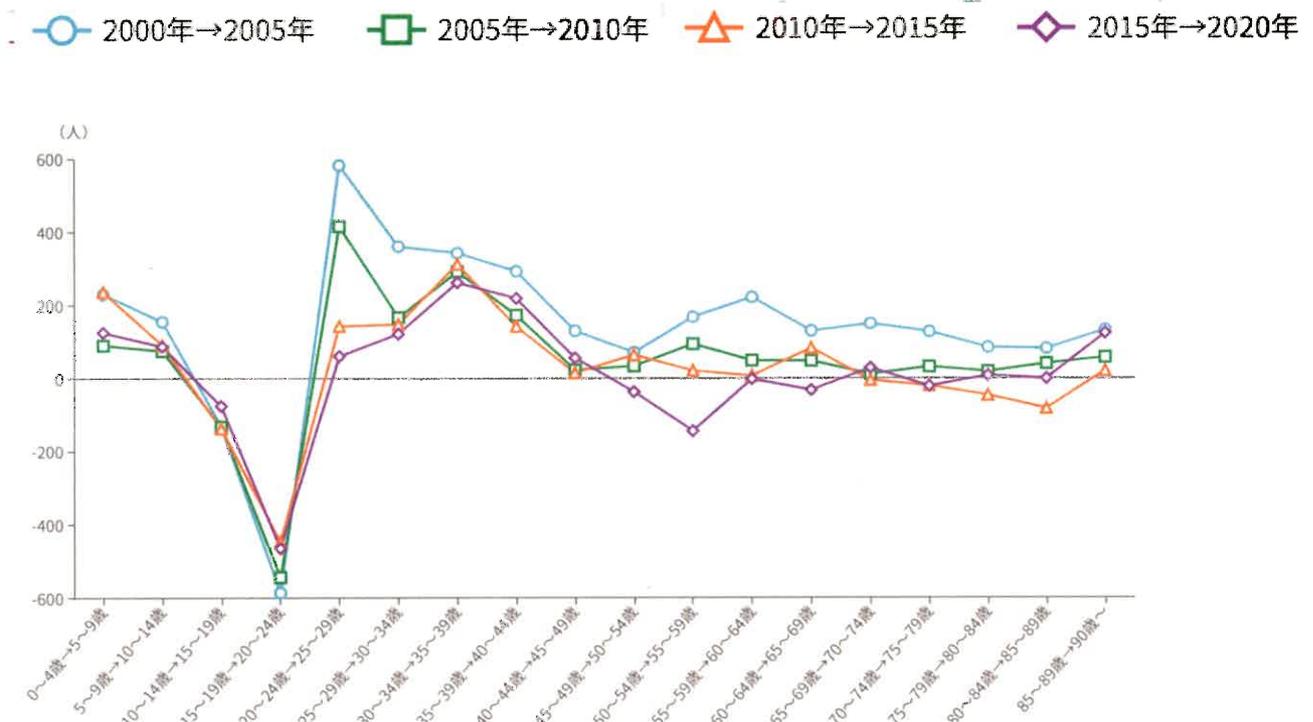
人口

年齢階級別純移動数時系列分析

年齢階級別純移動数の時系列推移は、主に大学進学時（15～19歳→20～24歳）に人口が流出する。就職時（20～24歳→25～29歳）に人口流入があり、以降、婚姻時期頃（30～34歳→35～39歳）から中高年齢層にかけても若干移動は続くが、定住傾向地域であると考えられる。

年齢階級別純移動数の時系列分析

三重県桑名市



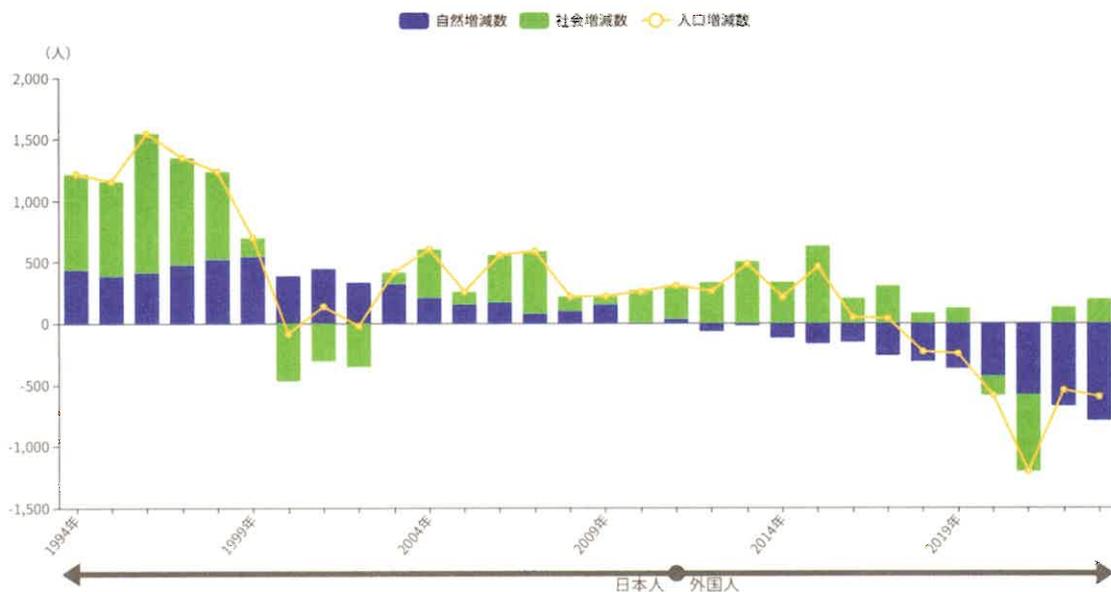
【出展】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づき田園都市国家構想実現会議事務局作成
*人口マップ→社会増減分析→人口移動

自然増減・社会増減の推移

自然増減数（出生数から死亡数を引いた値）と社会増減数（転入者数から転出者数を差し引いた数値）の推移を示したグラフである。近年、自然減の傾向が強くなり、全体の人口としては減少している。2020年から2021年の社会減はコロナ禍による人の移動減少が直接的な原因と考えられる。

自然増減・社会増減の推移(折れ線)

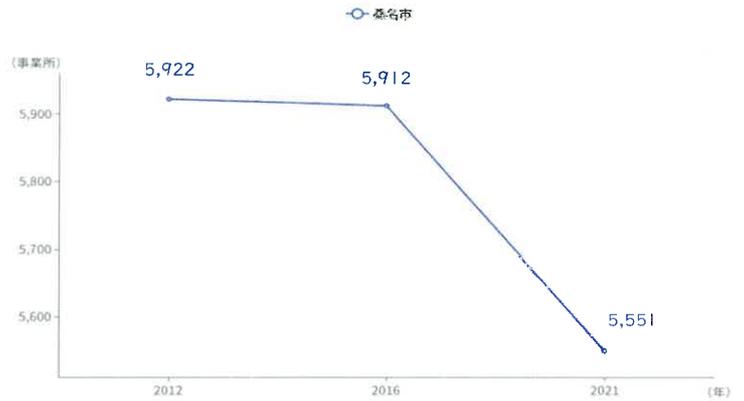
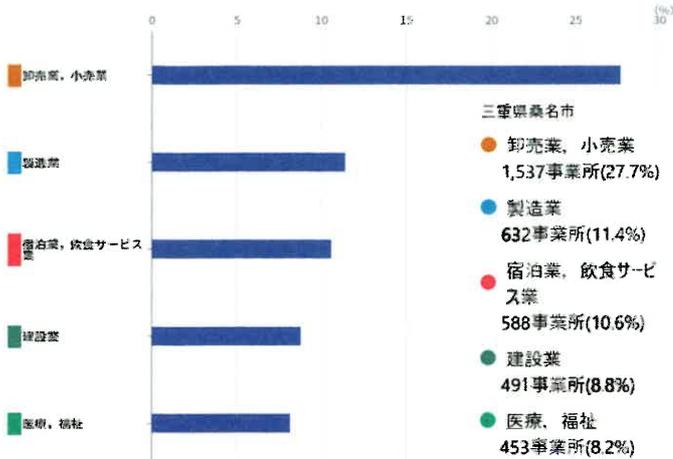
三重県桑名市



【出展】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工
*人口マップ→人口増減分析→グラフ

産業構造

事業所数(事業所単位): 5,551事業所



【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(産業横断調査)」
*産業構造マップ→産業構造分析→産業構成(事業所数)

【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(産業横断調査)」
*産業構造マップ→産業構造分析→推移(事業所数)

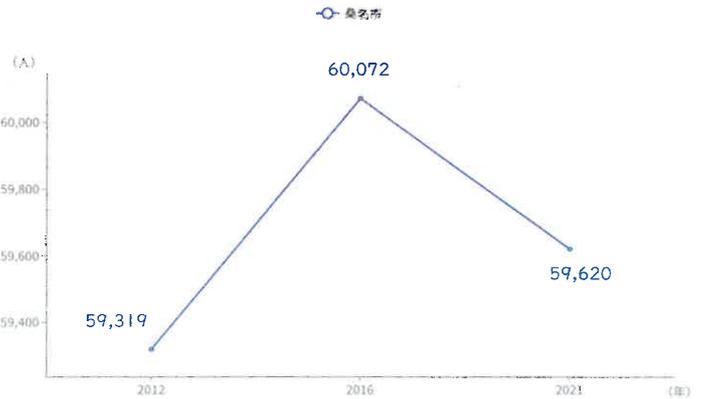
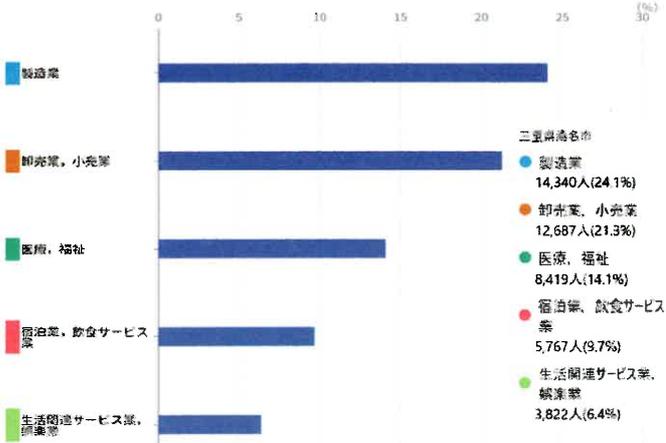
事業所数(事業所単位) 大分類 (2021年)

業種ごとの事業所数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の1,537事業所で、全体の27.7%を占めている。その後「製造業」の632事業所の11.4%が続く。

事業所数の推移 (2021年)

事業所数の推移をみる。2021年は5,551事業所であり、5年前の2016年は5,912事業所だったので、比較すると6.1%減少している。

従業者数(事業所単位): 59,620人



【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(産業横断調査)」
*産業構造マップ→産業構造分析→産業構成(従業者数)

【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(産業横断調査)」
*産業構造マップ→産業構造分析→推移(従業者数)

従業者数 (2021年)

業種ごとの従業者数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのは「製造業」の14,340人で、全体の24.1%を占めている。その後「卸売業、小売業」の12,687人の21.3%が続く。

従業者数の推移 (2021年)

従業者数の推移をみる。2021年は59,620人、5年前の2016年は60,072人だったので、比較すると0.8%減少している。また、2012年と比較すると0.5%増加している。



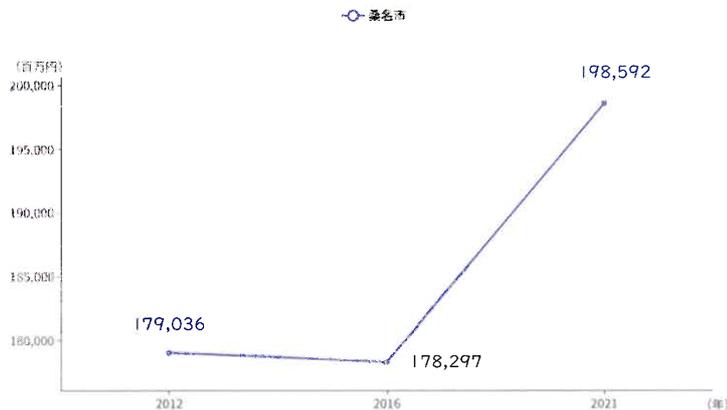
地域内産業の構成割合 (2018年)

桑名市の生産額を指標に産業の構成割合を全国および三重県と比較したグラフである。3次産業の割合が51.3%であり、三重県平均と比べて高く、全国平均に比べ低い。一方、2次産業の割合は、48.3%と三重県平均に比べて低く、全国平均に比べ高い。

*1次産業…農業、林業、漁業など
*2次産業…製造業、建設業、工業など
*3次産業…商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業、
外食産業・情報通信産業など

【出展】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」
(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)
*地域経済循環マップ→生産分析→地域産業の構造

小売業・卸売業



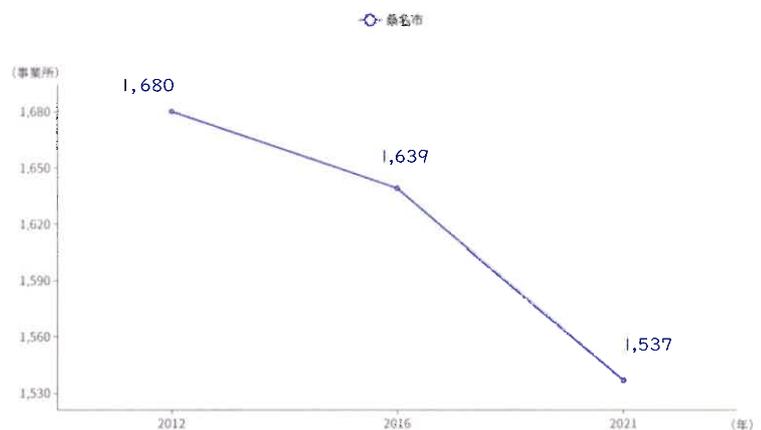
【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(産業横断調査)」
*産業構造マップ→産業構造→推移

売上高(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の売上高の推移を示したグラフである。2021年の売上高は198,592百万円である。9年前の2012年と比較すると、179,036百万円なので、10.9%増である。

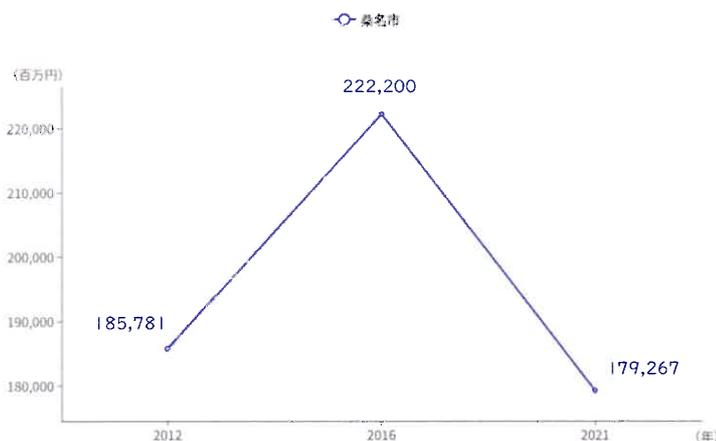
事業所数(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は1,537事業所、2016年は1,639事業所であり、2016年と比較すると、6.2%減となっている。



【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(産業横断調査)」
*産業構造マップ→産業構造→推移

製造業



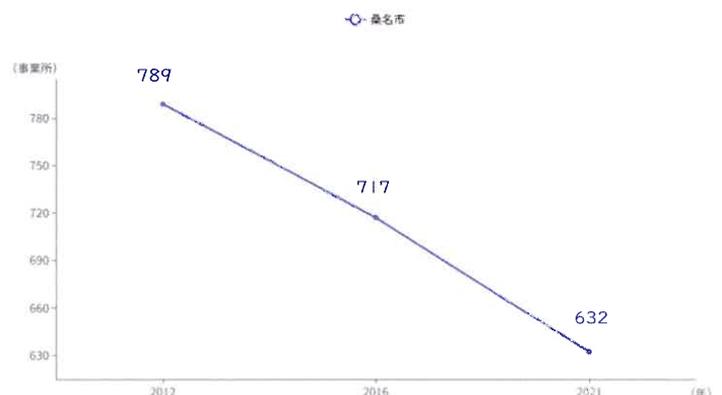
【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(産業横断調査)」
*産業構造マップ→産業構造→推移

売上高(製造業)の推移 (2021年)

製造業の売上高の推移を示したグラフである。2021年の売上高は、179,267百万円である。9年前の2012年と比較すると、185,781百万円なので、3.5%減である。

事業所数(製造業)の推移 (2021年)

製造業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は632事業所、2016年は717事業所であり、2016年と比較すると、11.9%減となっている。



【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(産業横断調査)」
*産業構造マップ→産業構造→推移

地域経済循環

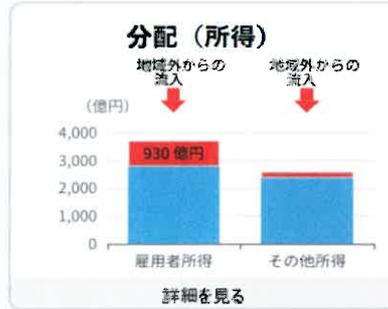
地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

地域経済循環率
81.6%

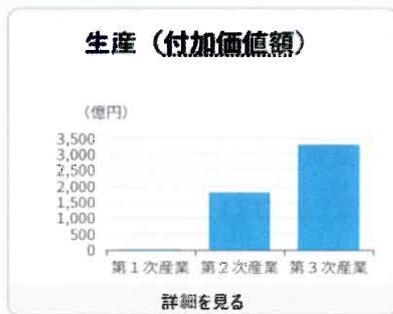
所得への分配
5,134

①桑名市の企業は合計5,134億円の付加価値を生み出し、所得へ分配している。



所得からの支出
6,291

②分配(所得)のうち、地域外への流出、地域外からの流入があり、支出に回される金額は、6,291億円である。



支出による
生産への還流
5,134

③市内で支出に使われた金額は5,134億円。市外への流出があるため所得からの支出6,291億円より少ない。



【出展】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」
(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)
*地域経済循環マップ→地域経済循環分析

付加価値額の構造分析 (付加価値額順/2021年)

X軸に従業者数、Y軸に労働生産性で表される付加価値額(面積)のチャートである。付加価値額の要因が、労働生産性と従業者数のどちらの影響によるものなのかを把握する。桑名市では、「製造業」の付加価値額がもっとも大きく、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の順に続く。



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
製造業	4,969	9,233	45,875
卸売業、小売業	2,733	12,275	33,544
医療、福祉	3,705	6,015	22,668
建設業	6,142	3,522	21,633
生活関連サービス業、娯楽業	3,084	3,958	12,206
運輸業、郵便業	4,913	1,532	7,526
サービス業 (他に分類されないもの)	2,726	2,735	7,456

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
金融業、保険業	8,333	667	5,558
宿泊業、飲食サービス業	1,569	3,433	5,306
学術研究、専門・技術サービス業	4,646	697	3,238
不動産業、物品賃貸業	4,382	720	3,155
教育、学習支援業	1,689	652	1,101
その他	2,138	224	479

「その他」に含まれる産業、データを秘匿・欠測している産業

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
情報通信業	2,692	117	315
農林漁業	1,563	103	161
電気・ガス・熱供給・水道業	750	4	3
複合サービス事業	-	4	X
鉱業、採石業、砂利採取業	-	29	X

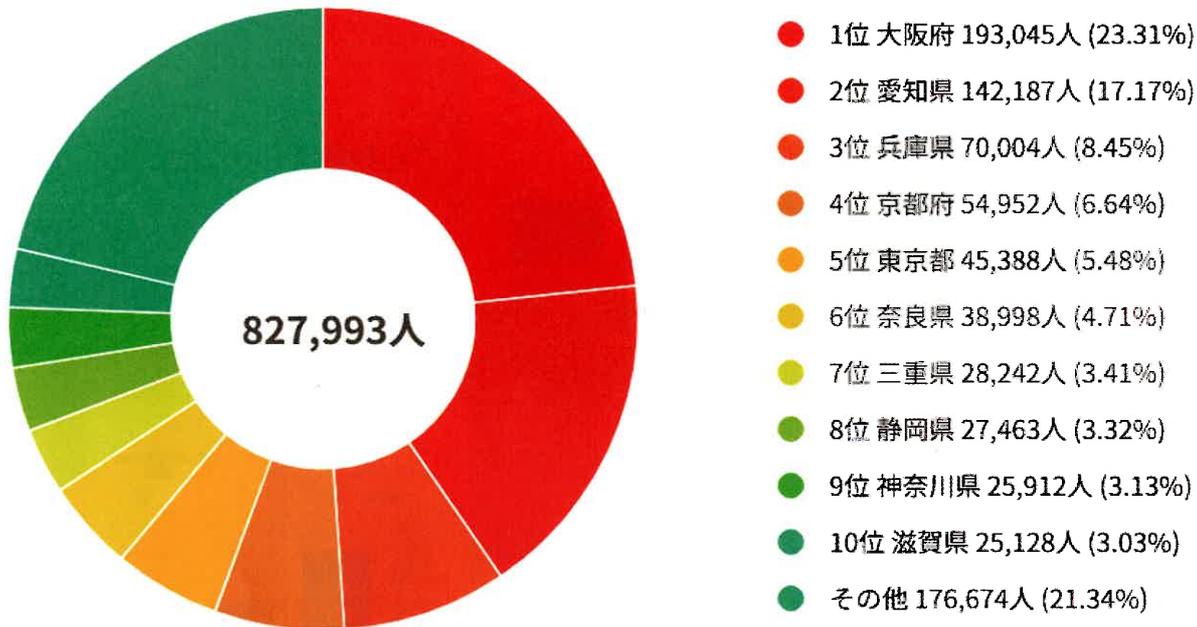
【出展】総務省・経済産業省「経済センサス-活動分析」

*地域産業マップ→産業構造分析→付加価値額の構造分析

観光

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合（2024年）

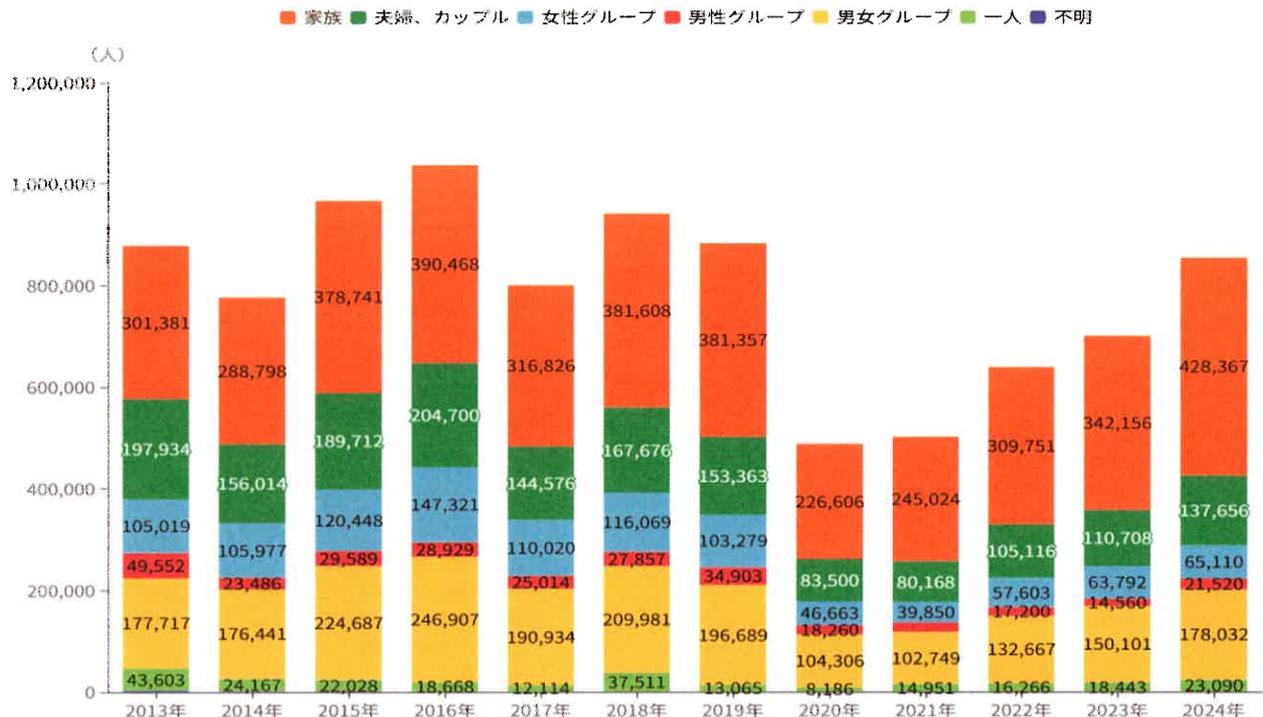
居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。大阪府が23.31%と最も多く、愛知県の17.17%、兵庫県の8.45%が続く。



【出展】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
*観光マップ→宿泊者分析→居住別都道府県別

属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移

延べ宿泊者数の推移を形態別に示したグラフである。2024年でもっとも多いのは、「家族」の428,367人、その後、「男女グループ」の178,032人、「夫婦・カップル」の137,656人と続く。



【出展】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
*観光マップ→宿泊者分析→属性別に見る

発行：桑名商工会議所
〒511-8577 三重県桑名市桑栄町1番地1（サンファーレ南館2階）
TEL: 0594-22-5155 FAX: 0594-21-5156
URL: <https://www.kuwanacci.com>

